

4 トピック — トマト・トマト加工品の需給動向 —

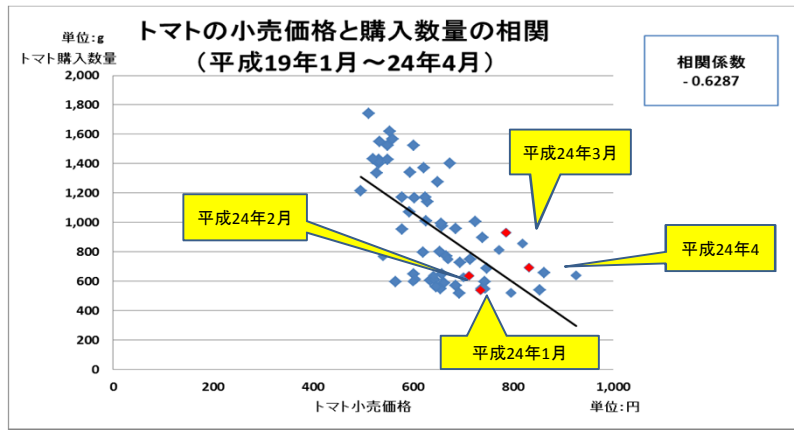
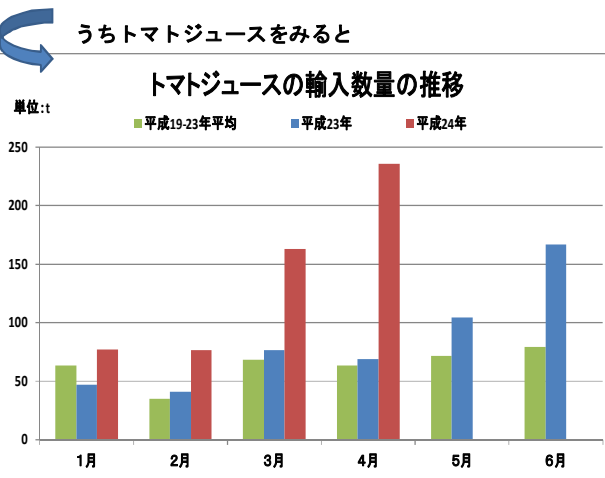
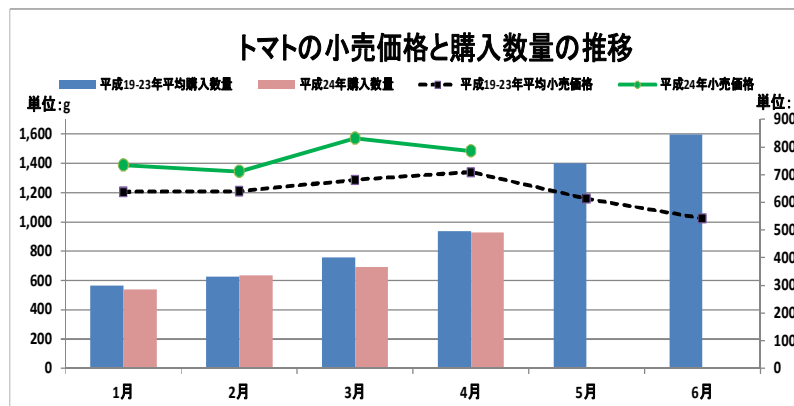
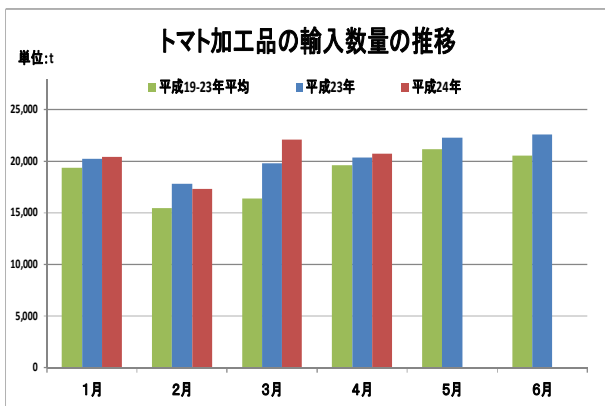
トマト・トマト加工品の需要は、近年、多くの野菜の需要が減少傾向で推移している中で、食の洋風化等により、ほぼ横ばい状態となっているが、最近のトマト・トマト加工品の需給に関して、注目すべき動きがみられる。

その一つがトマト加工品の輸入数量であり、3月、4月と前年同月を上回り、需要が旺盛だったことが伺える。中でもトマトジュースは、3月が対前年同月比214%、4月が同343%と大きく増加している。

また、トマトの購入数量にも、3月以降特徴がみられる。今年のトマトの価格は、主産地の九州の曇天等の影響により出荷量が減少し、小売価格が平年より高めに推移してきた。トマトの小売価格と購入数量の関係をみると、価格が高いと購入数量が減少する傾向がある中で、3月以降は、傾向値を上回る購入数量となっており、トマトの需要が好調だったと推測される。

この2月には、「トマトから脂肪肝、血中中性脂肪改善に有効な健康成分を発見」との研究結果が発表され、メタボリック症候群の改善に役立つのではと注目を集めたことが、以上のようなトマト・トマト加工品の需要増に大きく寄与したものと考えられる。

さらに5月には、「トマトが飲酒後の血中アルコール濃度を低下させることをヒトで確認」との研究結果が発表されたところであり、今後のトマト・トマト加工品の需要の動向が注目される。



資料：ベジ探(原資料)「貿易統計」

平成19年1月～24年4月のトマトの購入数量(総務省「家計調査(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」)とトマトの小売価格(総務省「小売物価統計調査報告」(東京都区部))との相関をみた。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。